

せっかくヨーロッパに来たのだから、ベルギーだけでなくヨーロッパ各地も観光したいものですね。格安航空券を利用して、秋休みや3連休、クリスマス時期に、出かけてみましょう。今回は、ちょっと遠くへお出かけ、スペインの観光名所、カタルーニャ州バルセロナの紹介です。神戸市とは姉妹都市となっています。

スペイン

バルセロナ

フランスとの国境を越えた海側にあるバルセロナは、建築家アントニ・ガウディ(1852~1926)作の建物が多くあり、ベルギーからもたくさんの観光客が訪れています。まずは、飛行機のチケットと宿泊先を手配しましょう。

バルセロナ行きの便には、ローコストチケットがあります。飛行時間は2時間弱なので、乗ってしばらくしたら着いてしまいます。飲食のサービスがなくても問題のない距離です。利用する価値はあります。

ローコストの場合、ほとんどの搭乗者が荷物を飛行機内に手荷物として持ち入れます。したがって、手荷物が多すぎると、遅くに搭乗する人は、荷物を荷物室に預ける(無料)場合があります。荷物室に預けたら、降機後、荷物の受け取りに時間がかかるので、避けたいところ。そのためには、出発カウンターを早めに見つけ、並んで待っているといいです。但し、出発カウンターも出発間際に決定するので、掲示板への注意が必要です。

宿泊施設は、滞在日数によりスタイルが変わります。個人のアパートを借りたり、台所付のホテルを利用すると、朝食や夕食を部屋内で取ることができます。取材時に利用したアパートホテルは中心地から離れていますが(Rocafort、地下鉄Catalunyaから3つ目の駅下車)、ホテルの隣に地元のスーパーがあり、歩いて10分くらいのところに日本人パティスリーの店(Takashi Ochiai, Comte Urgell 110)や、地下鉄駅近くにタパス料理店、地中海料理店などがあり、とても便利なところでした。Googleの地図で、宿泊施設の周りに何があるかを探しながら場所を選ぶといいですね。

サグラダ・ファミリア(聖家族教会) www.sagradafamilia.org/en

建築家アントニ・ガウディの作品。生涯独身を通し、73歳のときに路面電車に引かれ、亡くなるという不運に見舞われた人ですが、素晴らしい作品を数々残しています。1882年から建設が始まり、ガウディ死後100周年に当たる2026年には、現在建設中の塔を完成させる予定だそうです。設計図に頼らず、模型を作り建設を進めた教会です。スペイン内戦(1936~1939)で設計図はなくなり、現在は残された数少ない資料を基に工事が進められています。



内部観覧は、事前に入場券をネットから購入し、入場するのが得策です。塔は2カ所見学できますが、生誕のファサード(低い塔)からの眺めが素敵です。上りはエレベーターで、下りは円形階段を下ります。

教会内はオーディオガイド(有料、日本語あり)を聞きながら回ると、一段とガウディの望んだ聖家族教会の意図を知りながら見学できます。

サン・パウ病院 www.santpaubarcelona.org

サグラダ・ファミリアから徒歩10分のところにあります。モダニズムを代表する建築家モンタネール(1850~1923)が「芸術には人を癒す力がある」との信念に基づき設計し、1930年に完成しました。2009年まで病院として使用されていましたが、現在は中を見学できます(有料)。

レストラン・エルチェ(Elche)

サン・パウ病院近くの地下鉄 San Pau Dos de Maig駅から地下鉄に乗ってサグラダ・ファミリアで2号線に乗り換え、終点の Paral·lel(海側)に行き、米料理専門店といわれるエルチェで、パエリアを食べてみました。ソースが多めで食べ易く美味しかったのですが、かなりの量でした。パエリアと他の魚や肉を注文して、家族や友だちとシェアすると一層いろいろなスペイン料理を堪能できます。



Elche elcherestaurant.es

Carrer de Vila i Vilà, 71, 08004 Barcelona, España
Tel 93 441 30 89 13h~16h, 19h~24h, 12/24, 12/25休

ゲエル公園 www.parkguell.cat

実業家ゲエルが構想し、ガウディが設計した山の上にある田園都市型の集合住宅地内にある公園ですが、ゲエルの死で都市計画は未完に終わり、公園だけが残されました。こちらの入場券も事前にネットから購入しましょう。この公園内には、トカゲの噴水、ドーリス式の列柱、テラス(広場)、二重十字架、曲線を多用して作られた回廊など見所はたくさんあります。山の上の公園なので、バルセロナの景色や遠くに見える海も最高



です。

公園への行き方は数種類ありますが、地下鉄Lesseps駅で降りて公園正面入り口まで歩いて行くのが、一番分かりやすいです。カタルーニャ広場からバス24番やサグラダ・ファミリアやサン・パウ病院経由のバス92番で公園入口で下車できますが、ここからガウディの建物がある有料の公園部分までは、少し距離があり迷います。さらに地下鉄Vallcarca駅からの徒歩コースは、公園近くで右左に曲がったり、坂を上ったりで、分かりづらそうです。

Gracia通りのガウディ作建物

カサ・バトリヨ www.casabatillo.es/en

バルコニーが骨の形で、壁が廃物利用のモザイク柄、カラフルな色使いでとても素敵な建物です。

カサ・ミラ www.lapedrera.com/en/home

カサ・バトリヨからさらに北方向に400m歩いたところに、高級アパルトメントがあります。直線を使わず、波打つ曲線を強調した建物です。ブランドLupoのバッグは、この建物をイメージしたものです。



サン・ジュセップ市場

www.boqueria.info/index.php?lang=en

サラミ系のおつまみやいかリング揚げ、魚のから揚げ、タラのコロッケなどを食べながら市場を見て回るもよし、カウンター形式で座って食事をしながら、スペイン料理に触れるもよし。夏には果物が豊富にできるスペインです。フルーツジュースやフルーツサラダなどもありますので、デザートにいいですね。閉店間際は、これらのジュースやサラダが割引になります。お昼前に行くと観光客が少ないです。

ピカソ美術館 www.museupicasso.bcn.cat/en

狭い小道を入ったところに入り口があります。並ぶ手間を省いて、チケットはネット購入をしておきましょう。日本語オーディオガイド(€5)があるので、聞きながら回っていくと、彼の芸術のセンスや作風の流れなどを掴むことができます。美術学校が嫌いだったピカソは、美術館を回ってじかに芸術に触れながら、自分の作品性を固めて行ったそうです。作風が時代とともに変わり、数種のタッチの作品を見ることができます。館内のカフェは、もう営業していません。

カタルーニャ美術館 www.museunacional.cat/en

建物そのものが宮殿のように見学する価値があります。丘の上に建っているの、ここからバルセロナの街を見下ろすこともできます。端のほうからは、遠くにサグラダ・ファミリアも見えます。



ミロ美術館 www.fmirobcn.org/en

バルセロナ出身のジョアン・ミロの美術館です。シュルレアリスムの運動に参加しましたが、独自の道を開き、多くの作品を残しています。オーディオガイド(€5、日本語なし)がありますので、芸術に興味のある方は、解説を聞きながら作品を見ていくと面白いです。前半期には普通の絵画を作成した時期もありますが、いわゆる美術学校で習う作品には見向きもせず、色使いの素晴らしいミロの手法、オートマティズム(自動記述)の手法で描かれた作品を鑑賞できます。

スペイン村 www.poble-espanyol.com/en

スペインの田舎街の様子を再現した公園で、レストラン、カフェをはじめ伝統芸術やスペイン物産の店が立ち並び、買い物しながらスペインを知ることができます。ここからも遠くにサグラダ・ファミリアが見えます。

ミロ公園

夕涼み時に地元の人が集まる公園で、ミロ作の「鳥と女」の像があります。残念ながら、現在この像の周りには工事中です。公園の隣にショッピングセンターがあります。



バルセロナの見所はたくさんあって、1~2日では見切れません。最低3日くらい、時間をかけてゆっくり見学すると観光地を見ただけでなく、スペイン人の人情、気質も垣間見ることができますね。

時間のある方は、市内からバスで40分のところにあるアウトレット(www.larocavillage.com/en/home)へ出かけても、スペインの思い出の品を見つけられるかもしれません。専用バスを利用すると、買い物が10%割引になるバウチャーをもらえます。このアウトレットは、ベルギーのマースメッヘン・ヴィレッジと同系列のアウトレットで、ブランドの店がたくさん並んでいます。スペイン人をはじめ、外国からの旅行者も買い物に訪れ、販売店員は皆英語ができます。ローコストの飛行機を利用している場合は、荷物の量に制限がありますので、買い物の量にお気をつけくださいね。

ブリュッセルから距離はありますが、飛行機を利用すると簡単に出かけられるバルセロナです。太陽たっぷりのスペインですから、日照時間が短くなったベルギーから出かける、まだまだ夏のバカンス気分を楽しめます。但し、毎日かなり歩きますので、歩きやすい靴で観光しましょう。くれぐれも盗難には気をつけてくださいね。